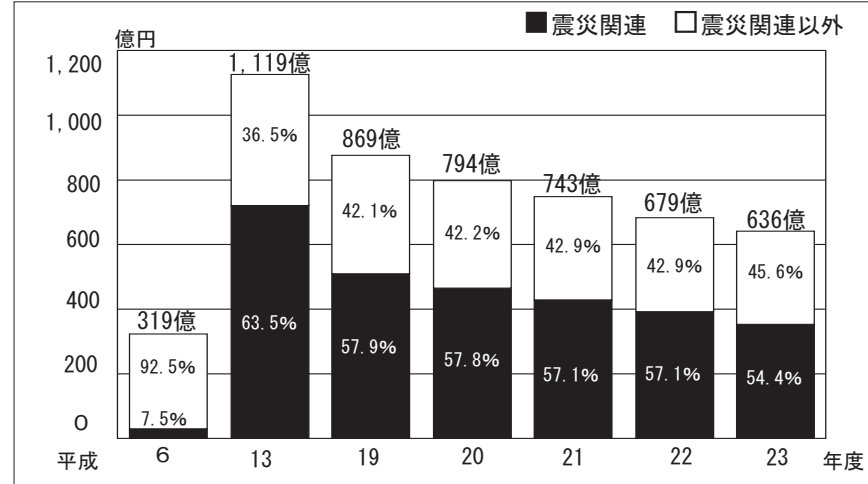


市債残高について

市の借金にあたる一般会計の市債残高については、震災関連事業の実施に伴い急増し、ピーク時の平成13年度末には1,119億円に達しましたが、震災関連事業の減少に伴い、平成14年度以降減少に転じています。平成23年度では計画的な償還に加えて、公的資金補償金免除繰上償還を行い、年度末残高は636億円となりました。なお、636億円の内、震災関連分は346億円(54.4%)となっています。今後も、可能な限り積極的な償還に努め、市債残高の一層の縮減を図ってまいります。

◆市債残高の推移 (グラフの数値は各年度の構成比)



健全化判断比率および資金不足比率について

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、健全化判断比率および資金不足比率を算定しましたので、お知らせします。健全化判断比率につきましては、いずれも早期健全化基準を下回っています。実質公債費比率や将来負担比率については、決して良好と言える数値ではありませんが、昨年度と比べ改善しています。これらの比率は、地方債の償還が進むにつれて、少しずつ改善される見込みです。

なお、資金不足比率につきましては、資金不足を生じている公営企業会計はありませんでした。

◆健全化判断比率 (単位: %)

	22年度	23年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	12.18	20.00
連結実質赤字比率	—	—	17.18	30.00
実質公債費比率	15.3	13.0	25.0	35.0
将来負担比率	181.6	148.3	350.0	—

- 【実質赤字比率】 一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
※標準財政規模: 地方公共団体において標準的に収入される一般財源の規模
- 【連結実質赤字比率】 全会計を対象とした実質赤字(または資金の不足額)の標準財政規模に対する比率
- 【実質公債費比率】 一般会計等が負担する元利償還金等の標準財政規模に対する比率
- 【将来負担比率】 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

歳入

平成23年度の一般会計歳入決算額は371億2,538万円で前年度に比べ70億2,494万円(15.9%)の減少となりました。

【市税】 歳入全体の約半分(55.7%)を占めます。個人市民税が3億6,768万7千円(3.3%)、法人市民税が5,215万8千円(8.8%)減少したため、市税総額では1億7,728万4千円(0.8%)減の206億8,671万9千円となりました。

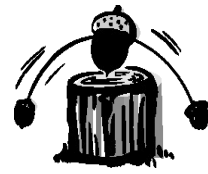
【譲与税・交付金】 前年度と比べ654万7千円(0.5%)減の13億3,414万6千円となりました。

【地方交付税】 普通交付税の減少により6,051万1千円(1.8%)減の32億1,633万3千円となりました。

【国県支出金】 国や県から交付される補助金や負担金等です。小中学校の耐震化工事や経済対策による交付金の減少等により、前年度と比べ5億3,471万9千円(10.2%)減の47億1,707万7千円となりました。

【市債】 いわゆる借入金です。緑化育成事業債の借換えがなくなったことから、前年度と比べ36億3,707万6千円(65.5%)減の19億1,918万円となりました。

【その他】 前記以外の収入で、寄附金や手数料収入等です。基金の取崩しの減少等により、前年度と比べ26億881万2千円(33.2%)減の52億5,192万5千円となりました。



歳出

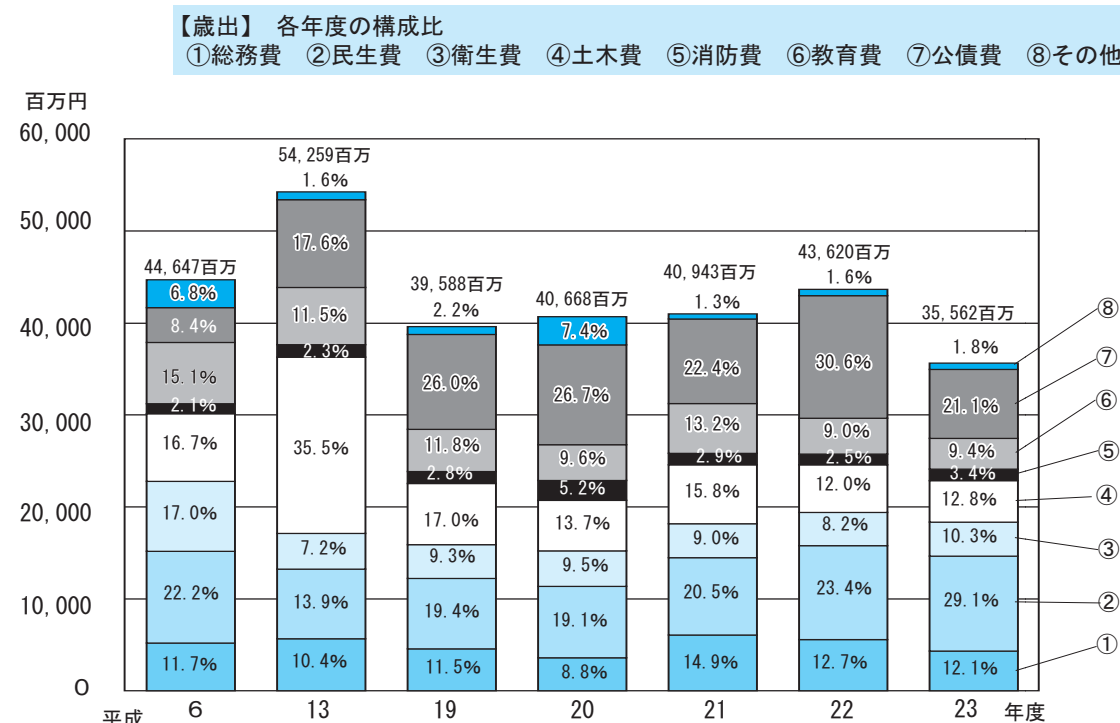
平成23年度の一般会計歳出決算額は355億6,221万6千円で前年度に比べ80億5,777万8千円(18.5%)の減少となりました。

【総務費】 市役所全体の事務費や税金の徴収、戸籍および住民票、選挙等に要する経費です。潮芦屋交流センターおよび三条地区集会所の施設整備経費や、宅地造成事業の売却減に伴う公共施設等整備基金積立金の減少等により、12億3,596万2千円(22.2%)減の43億1,897万2千円となりました。

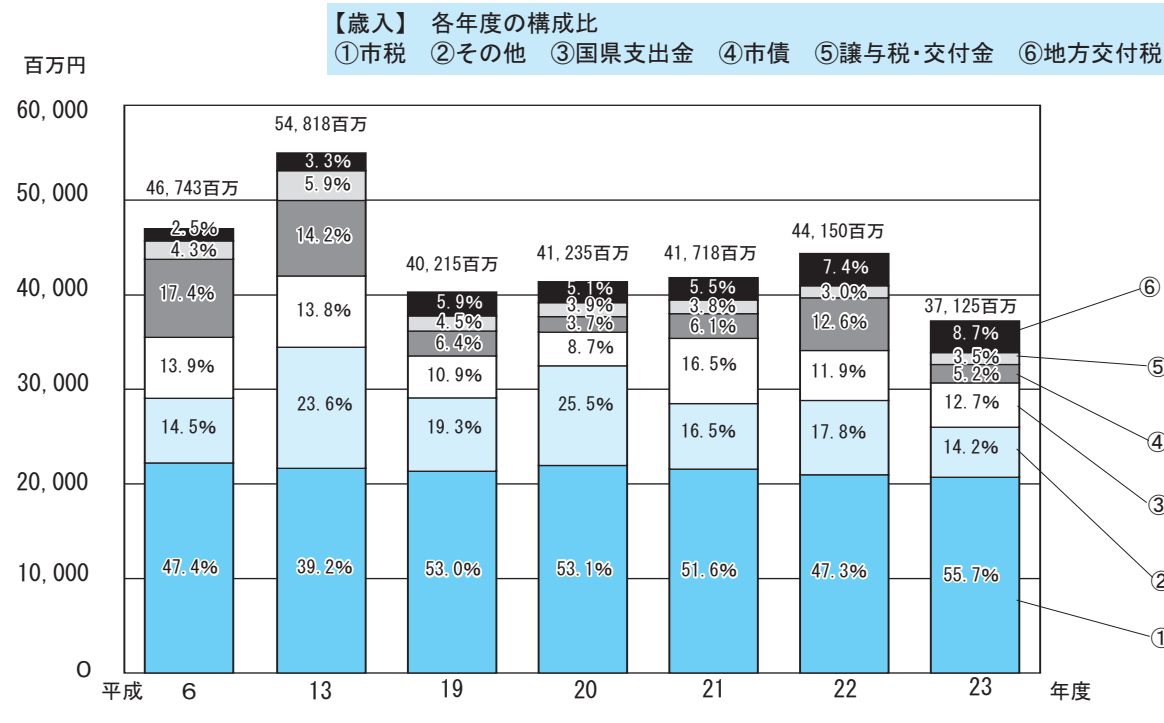
【民生費】 福祉等に要する経費です。子ども手当や後期高齢者医療にかかる経費、生活保護費の増加等により1億1,567万2千円(1.1%)増の103億4,450万3千円となりました。



歳出決算額の推移



歳入決算額の推移



【衛生費】 保健やごみ処理等に要する経費です。6,764万3千円(1.9%)増の36億6,436万9千円となりました。

【土木費】 道路や都市計画、公営住宅等に要する経費です。山手幹線開通による街路事業費や南芦屋浜公園整備事業費の減少等により6億4,532万4千円(12.4%)減の45億7,090万9千円となりました。

【消防費】 消防・救急や災害対策に要する経費です。消防車両購入費や東日本大震災の被災地への応援経費の増加等により、8,652万3千円(7.8%)増の11億9,301万9千円となりました。

【教育費】 学校や幼稚園、社会教育等に要する経費です。小中学校の耐震整備事業費の減少等により5億8,488万5千円(14.9%)減の33億3,298万9千円となりました。

【公債費】 市債(借入金)の元金や利子の支払に要する経費です。緑化育成事業債の一括償還がなくなったため、58億2,501万1千円(43.7%)減の75億1,163万5千円となりました。

【その他】 前記以外の経費で、議会費や商工費等が含まれます。市立芦屋高等学校解体事業がなくなったこと等により、3,643万4千円(5.5%)減の6億2,582万円となりました。



市民一人当たりに使われるお金は376,467円

歳出決算額を平成24年3月31日時点の人口で割ると、376,467円となります。これを費目ごとに分けると下図のようになります。

総務費	45,721円(45,740円)	消防費	12,629円(12,186円)
民生費	109,509円(135,435円)	教育費	35,284円(42,597円)
衛生費	38,792円(32,894円)	公債費	79,519円(45,480円)
土木費	48,388円(50,335円)	その他	6,625円(30,736円)
合計	376,467円(395,403円)		

※①内の数値は参考として平成22年度の全国都市平均を表示しています

平成23年度 一般会計決算概要

芦屋市の財政状況

問い合わせ 財政課 ☎38-2011

平成二十三年度は、市債残高を着実に減少させることにより将来の負担軽減を目指しながら、「医療・福祉および教育」を重点項目と位置付け、行政運営に取り組みました。また、東日本大震災の被災地への支援も積極的にを行いました。

この度、その決算概要がまとまりましたので、市の代表的な会計である一般会計を中心に、その特徴をお知らせします。

※なお、記事中のグラフ(歳入決算額、歳出決算額、市債残高)には、参考として震災前の平成六年度と近年で最大の予算額となりました平成二十三年度の数値を掲載しています。

平成二十三年度は、景気低迷等の影響を受けて市民税が大幅に減少したため、市税収入は対前年で一億七千七百二十八万四千円減収し、三年連続の下落となりました。

しかし、歳出において建設事業を中心とする投資的経費や地方債の償還が減少したことから、平成二十三年度の実質的な黒字額は昨年度よりも増加し、十五億三千七百五十五万三千円となりました。

黒字額については、今後の財政運営に活用します。

平成23年度 決算のあらまし

項目	説明	金額(千円)
①歳入総額	1年間の収入の総額	37,125,380
②歳出総額	1年間の支出の総額	35,562,216
③歳入歳出差引	収入から支出を引いた額	1,563,164
④繰越財源	平成24年度継続事業に充てるお金	25,611
⑤実質収支	実質的な黒字額	1,537,553

平成23年度の主な事業

- ◆三条集会所の完成
- ◆新しく学級施設整備を実施
- ◆阪急芦屋川駅北駅前広場および宮塚公園トイレバリアフリー化工事を実施
- ◆全幼稚園の空調設置の実施
- ◆幼稚園のガラス飛散防止フィルム設置に着手
- ◆ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンおよび子宮頸がんワクチンの接種費用の全額助成を継続
- ◆中学校3年生までの入院医療費の無料化を実施
- ◆通院医療費助成対象を小学校6年生まで拡充
- ◆歯科センターでの障がい者の歯科診療を実施
- ◆高齢者への救急医療キットの配布を実施
- ◆赤ちゃんの駅事業を実施
- ◆市内公立幼稚園での預かり保育を実施
- ◆学校図書館システムの導入
- ◆チャルパークでのプレジャーボート等航行規制を実施

9月後半 GATV 広報番組ガイド

芦屋市広報番組 あしやトライあぐる 放送時間(15分)

オープニング	春日公園	9:00
トピックス	3.11を考えるフォーラム 「そのときあなたはどうしますか」 第26回 芦屋市民絵画展	12:00
特集	怖がる前に予防しましょう! 食事・運動+がん検診	18:00
お知らせ	第24回 あしや秋まつり	22:30
エンディング	「芦屋 橋ものがたり」より	※DVD 貸出可

◆広報番組「あしやトライあぐる」は、11ch(一部地域を除く)でご覧ください。
◆番組に関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006 ◆CATV全般に関する問い合わせ ケーブルネットワーク神戸芦屋(J:COM)カスタマーズセンター☎0120-999-000

芦屋市明るい選挙推進大会講演会

■日 時 9月29日(土)午後1時30分~3時

■会場 市民センター401室

■内容 「時代の風 政治経済の変化を読む」

■講師 読売テレビ報道局特別解説委員・岩田公雄氏

■定員 先着180人

■申し込み 直接会場へ

岩田 公雄 氏

問い合わせ 選挙管理委員会 ☎38-2100

NHK公開セミナー「エル・グレコ」

■日 時 10月17日(水)午後2時~3時30分

■会場 ルナ・ホール

■内容 「エル・グレコ、異才の画家の生涯と作品」をテーマとして、国立国際美術館で10月16日(火)から開催の同展の展覧作品をわかりやすく解説

■講師 国立国際美術館主任研究員・安来正博氏

■申し込み 入場無料。往復はがきに、事業名・住所・氏名・電話番号・参加人数(1人または2人)を記入のうえ、10月3日(水)までに、下記へ

エル・グレコ(受胎告知)

©Museo Thyssen-Bornemisza, Madrid

問い合わせ 公民館 ☎35-0700(〒659-0068 業平町8-24)

いきいきシネマサロン「新しき土」

原節子16歳。伝説はここから始まった。75年ぶりのスクリーン公開。

■日 時 9月29日(土) 午前10時10分 午後1時 午後3時30分
<上映時間1時間46分>

■会場 ルナ・ホール

■出演 原節子・小杉勇・早川雪洲ほかノアール・ファンク・伊丹万作(共同監督)/1937年日本・ドイツ合作

■料金 1,000円(小学生以下500円)
広報掲載記事持参で大人200円割引

問い合わせ ルナ・ホール事業担当 ☎35-0700